

## 施工状況等報告書

2020 年 7 月 31 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様  
小諸市長 小泉 俊博 様  
御代田町長 小園 拓志 様  
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内  
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合  
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

### 記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	2020 年 4 月 1 日から 2020 年 6 月 30 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	建設地では、施設本体建設工事が行われている。  【施設本体建設工事】 事務所棟の外装、内装、設備工事、工場棟の内装、設備工事、プラントの電気、電気計装、保温工事、計量棟、洗車棟、車庫棟の外壁、設備工事を行っています。 令和 2 年 6 月 2 日から受電を開始し、工場棟機器類の単体試験を行っています。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

# 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間: 2020年4月1日～2020年6月30日

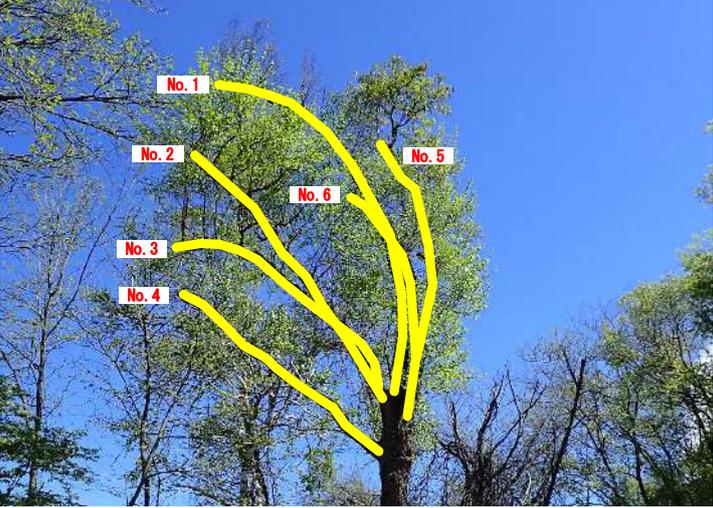
環境影響評価項目	保全対象種	措置項目	措置内容	添付書類
植 物	ヤエガワカンバ	成木の移植	5月11日に平成27年4月18日移植個体の生育確認（樹木活力度調査）及び管理 樹高13.0m（昨年12.2m）、胸高直径44.0cm（昨年44.0cm）、枝張り5.5m（昨年5.5m）であり、樹高が昨年より高くなっている。枝によっては雄花序（雄花）が見られ、全体に展葉が始まっている。No.4の枝以外にNo.1の枝も枯れてきている。枝先端部に発生しているキノコに変化は見られない。	写真ヤエー 1, 2, 3, 4
		種子の保存及び播種、育苗	5月11日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植した幼木3個体は樹高118cm～183cm、根元直径13～22mmで、展葉始まる。個体No.⑤はシラカンバの可能性が高いため近傍の事業地内に移動して、替わりに個体No.④のヤエガワカンバ幼木（樹高30cm、根元直径11mm）を移植した。 2) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No.① 樹高42cm、根元直径12mm。展葉始まる。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 3) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No.① 樹高38cm、根元直径12mm。展葉始まる。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 4) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個で育苗中の幼木は現在136本。樹高は12～27.5cm、根元直径は2～4mm。展葉始まる。	写真ヤエー 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14
		6月8日に播種個体の生育確認及び管理 1) 平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 平成30年3月8日に事業実施区域内に移植した幼木及び、令和2年5月11日にシラカンバの可能性が高いNo.⑤の苗木に変わり新たに移植したヤエガワカンバNo.④の3個体は樹高39～169cm、根元直径12～21mmで展葉した。No.④のヤエガワカンバ幼木は、5月（樹高30cm、根元直径11mm）より樹高が9cm高くなり、根元直径も1mm太くなっていた。 2) 平成28年4月18日播種個体の生育確認及び管理 個体No.① 樹高42cm、根元直径12mm。展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。アブラムシにより一部の葉が枯れたため、殺虫剤を散布。 3) 平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理 個体No.① 樹高38cm、根元直径12mm。展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。アブラムシにより一部の葉が枯れたため、殺虫剤を散布。 4) 平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理 ポット30個で育苗中の幼木は現在135本。樹高は20～33cm、根元直径は2～5mm。展葉した。	写真ヤエー 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23	

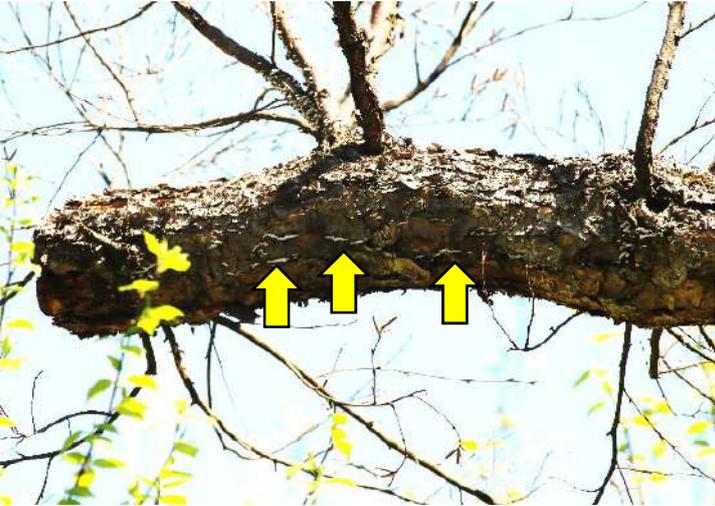
環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植物	オニヒョウタンボク	成木の 移植	5月11日に平成27年4月20日移植個体(No. 1~No. 8)の生育確認(樹木活力度調査) 全ての個体で順調に展葉し、開花している。	写真オニ-1, 2, 3
		種子の 保存及び 播種、 育苗	5月11日に播種個体及び挿し木個体の育苗状況確認 1)平成29年6月29日播種個体の生育確認 No. ③は樹高7cm、根元直径3mmで展葉した。 2)平成29年3月14日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) No. ⑰は樹高21.5cm、根元直径6mmで開花し展葉した。結実も見られる。 3)平成31年3月8日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 個体No. ②は樹高14.5cm、根元直径4mmで展葉した。 個体No. ⑱は樹高16.5cm、根元直径4mmで展葉した。 個体No. ⑲は樹高18cm、根元直径4mmで展葉した。 4)令和2年3月11日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 鹿沼土に挿し木した10本中8本に展葉あり。 赤玉土へ挿し木した10本中6本に展葉あり。 移植地土壤に挿し木した10本は葉の芽はあるがまだ展葉していない。	写真オニ-4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
			6月8日に播種個体及び挿し木個体の育苗状況確認 1)平成29年6月29日播種個体の生育確認 No. ③は樹高16cm、根元直径5mmで展葉した。 2)平成29年3月14日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) No. ⑰は樹高22cm、根元直径6mmで展葉した。 3)平成31年3月8日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 個体No. ②は樹高16cm、根元直径5mmで展葉した。 個体No. ⑱は樹高19cm、根元直径4mmで展葉した。 個体No. ⑲は樹高19cm、根元直径4mmで展葉した。 4)令和2年3月11日挿し木個体の生育確認(発根促進剤使用) 鹿沼土に挿し木した10本中3本に展葉あり。 赤玉土へ挿し木した10本中3本に展葉あり。 移植地土壤に挿し木した10本は展葉していない。	写真オニ-13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20
	ギンラン	生育個体の 確認・ 移植先 の森林 整備	5月11日に移植先及び周辺における個体の生育確認と移植先の周辺環境整備 1)移植先及び周辺における個体の生育確認 平成25年度生育確認場所と平成27年度及び平成28年度の移植場所ではギンランは確認できなかった。昨年度にギンランを確認した周辺の林内ではギンランと思われる芽生えを確認した。 2)移植先の周辺環境整備 移植先及び周辺の林内で林床の低木や草本を鎌で刈り込みを行った。	写真ギン-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
		6月1日に移植先及び周辺における個体の生育確認 平成25年度生育確認場所と平成27年度及び平成28年度の移植場所ではギンランは確認できなかった。昨年度にギンランを確認した周辺の林内では開花したギンランを15個体確認した。1箇所から4個体が生育している場所もあり、昨年度(13個体)より2個体増えていた。	写真ギン-8, 9, 10, 11, 12	
	動物	ベニモンマダラ	幼虫、 成虫等 の 生息 確認	6月1日に生息基盤移植先(平尾用水法面)における幼虫の生息確認 調査の結果、生息基盤移植先(平尾用水法面)の枠内で5個体、枠外で11個体の幼虫を確認した。なお、クサフジの生育は順調であるがクサフジ以外の草本(特にスゲ類)も繁茂しているため、秋に他の草本の刈り取りを予定する。

環境影響評価項目	保全対象種	措置項目	措置内容	添付書類
動物	クリイロベッコウ	移殖先における個体の確認	6月12日に移殖先における個体の生息の確認（6月16日に追加調査を実施） クリイロベッコウの生息確認調査を実施。調査の結果、対象事業実施区域南側の移殖先（地点③）で、クリイロベッコウと思われる3個体、対象事業実施区域東の移殖先（地点④）で、ヒメベッコウと思われる1個体を含む陸産貝類を確認した。なお、現在は種の同定（識別）中である。	写真クリ-1, 2, 3, 4, 5
	希少猛禽類	営巣活動が確認された場合の検討	6月10日に定点観察 定点観察によりハチクマ3例、オオタカ1例を確認。注目行動としてはオオタカによるN7付近での探餌とハンティングと思われる行動を確認した。	写真モウ-1
			6月16日に定点観察 定点観察によりハチクマ3例を確認。	写真モウ-2
水象	地下水位	地下水位モニタリング	4月27日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：786.88m(昨年度同月：786.59m) ・調査地点No. 2：743.82m(昨年度同月：743.38m) ・調査地点No. 3：725.06m(昨年度同月：724.53m)	写真チカ-1
			5月28日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：788.86m(昨年度同月：786.83m) ・調査地点No. 2：743.47m(昨年度同月：743.46m) ・調査地点No. 3：724.76m(昨年度同月：724.68m)	写真チカ-2
			6月29日に地下水位のモニタリングを実施。 調査地点は対象事業実施区域周辺の3地点とした。 各地点の結果は昨年度と同程度であり、地下水位の低下が見られないことから、地下水利用や地盤沈下への影響はほとんどないと考えられるため、新たな環境保全措置は実施しなかった。 ・調査地点No. 1：789.21m(昨年度同月：788.32m) ・調査地点No. 2：744.49m(昨年度同月：744.43m) ・調査地点No. 3：725.17m(昨年度同月：724.92m)	写真チカ-3

## - 公表・公開情報 -

発行	①環境影響調査事後調査実施状況（概要版）3月号 ②環境保全措置・事後調査実施状況（概要版）4月号
内容	① 1 施設建設工事に伴う環境保全措置について 2 生活環境に対する事後調査について ② 1 ヤエガワカンバ成木の生育状況について 2 オニヒョウタンボク幼木の生育状況について
方法	ホームページに掲載

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	R2.5.11
	<p>平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理</p> <p>移植木の全景 樹高13.0m(昨年12.2m)、胸高 直径44.0cm(昨年44.0cm)、枝 張り5.5m(昨年5.5m)であり、 樹高が昨年より高くなってい る。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	R2.5.11
	<p>平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理</p> <p>No.4の枝は枯れ、No.1の枝も 枯れてきている。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	R2.5.11
	<p>平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理</p> <p>No.1の枝が枯れている状況。</p>	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-4
	撮影日	R2.5.11
	<p>平成27年4月18日移植個体の 生育確認(樹木活力度調査)及 び管理</p> <p>No.1の枝先端部に発生してい るキノコ。キノコの状況にあま り変化は見られない。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-5
	撮影日	R2.5.11
	<p>平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理 (植樹個体)</p> <p>個体No.③ 樹高118cm、根元直径16mm 展葉が始まる。</p>	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-6
	撮影日	R2.5.11
	<p>平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理 (植樹個体)</p> <p>個体No.⑤ 樹高183cm、根元直径22mm 展葉が始まる。葉の形状から シラカンバの可能性が高い。 計測後に移植作業を行った。</p>	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-7
撮影日	R2.5.11
平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理	
シラカンバの可能性が高い個体No.⑤を近傍の事業地内に移動。 掘り出しの様子。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-8
撮影日	R2.5.11
平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理	
シラカンバの可能性が高い個体No.⑤を近傍の事業地内に移動して、個体No.④のヤエガワカンバ幼木の移植を行った。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-9
撮影日	R2.5.11
平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理	
個体No.④のヤエガワカンバ幼木の移植。 樹高30cm。根元直径11mm。 展葉始まる。	



保 全 対象種	ヤエガワカンバ
写 真 番 号	ヤエ-10
撮影日	R2.5.11
平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理 (植樹個体)	
個体No.⑦ 樹高140cm、株立ち(根元直 径20mm、18mm、13mm) 展葉が始まる。	



保 全 対象種	ヤエガワカンバ
写 真 番 号	ヤエ-11
撮影日	R2.5.11
平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理	
個体No.① 樹高42cm、根元直径 12mm。	
展葉が始まる。葉の形状から シラカンバの可能性が高い。	



保 全 対象種	ヤエガワカンバ
写 真 番 号	ヤエ-12
撮影日	R2.5.11
平成29年4月21日播種個体の 生育確認及び管理	
個体No.① 樹高38cm、根元直径 12mm。	
展葉が始まる。葉の形状から シラカンバの可能性が高い。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-13
撮影日	R2.5.11
平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理	
ポットNo.1~16(生存数70本) 樹高12~27.5cm 根元直径2~4mm	
展葉が始まる。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-14
撮影日	R2.5.11
平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理	
ポットNo.17~30(生存数66本) 樹高14~23.5cm 根元直径2~3mm	
展葉が始まる。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-15
撮影日	R2.6.8
平成27年4月23日播種個体の生育確認及び管理 (植樹個体)	
個体No.③ 樹高125cm、根元直径17mm	
十分に展葉した。	



保 全 対象種	ヤエガワカンバ
写 真 番 号	ヤエ-16
撮影日	R2.6.8
平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理 (植樹個体)	
個体No.④ 樹高39cm。根元直径 12mm。  十分に展葉した。	



保 全 対象種	ヤエガワカンバ
写 真 番 号	ヤエ-17
撮影日	R2.6.8
平成27年4月23日播種個体の 生育確認及び管理 (植樹個体)	
個体No.⑦ 樹高169cm、株立ち(根元直 径21mm、19mm、14mm)  十分に展葉した。	



保 全 対象種	ヤエガワカンバ
写 真 番 号	ヤエ-18
撮影日	R2.6.8
平成28年4月18日播種個体の 生育確認及び管理	
個体No.① 樹高42cm、根元直径 12mm。  展葉した。葉の形状からシラ カンバの可能性が高い。アブ ラムシにより一部の葉が枯れ たため、殺虫剤を散布。	

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-19
	撮影日	R2.6.8
<p>平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理</p> <p>個体No.① 樹高38cm、根元直径12mm。</p> <p>展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。アブラムシにより一部の葉が枯れたため、殺虫剤を散布。</p>		
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-20
	撮影日	R2.6.8
<p>平成29年4月21日播種個体の生育確認及び管理</p> <p>個体No.① 発生したアブラムシの様子</p>		
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-21
	撮影日	R2.6.8
<p>播種個体の生育確認及び管理</p> <p>幼木に発生したアブラムシ駆除のための殺虫剤散布の様子 ※左側の葉の多いポットは平成30年4月10日播種個体であり、アブラムシは発生していない。</p>		



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-22
撮影日	R2.6.8
平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理	
ポットNo.1~16(生存数70本) 樹高21~33cm 根元直径2~5mm	
展葉した。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-23
撮影日	R2.6.8
平成30年4月10日播種個体の生育確認及び管理	
ポットNo.17~30(生存数65本) 樹高20~26cm 根元直径2~3mm	
展葉した。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-1
	撮影日	R2.5.11
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  移植個体の全景 樹高は1.7~2.8mで、全ての 個体で順調に展葉し、開花し ている。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-2
	撮影日	R2.5.11
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  順調に展葉し、開花している。 (写真はNo.1)	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-3
	撮影日	R2.5.11
	平成27年4月20日移植個体の 状況確認(樹木活力度調査)  開花の様子。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-4
	撮影日	R2.5.11
	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(ポット)  個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm  展葉した。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-5
	撮影日	R2.5.11
	平成29年3月14日挿し木個体 の育苗状況確認(発根促進剤 使用)  個体No.⑰ 樹高21.5cm、根元直径6mm  開花し展葉した。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-6
	撮影日	R2.5.11
	平成29年3月14日挿し木個体 の育苗状況確認(発根促進剤 使用)  個体No.⑰ 開花の様子、結実も見られ る。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-7
撮影日	R2.5.11
平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
個体No.② 樹高14.5cm、根元直径4mm 展葉した。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-8
撮影日	R2.5.11
平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
個体No.⑫(中央) 樹高16.5cm、根元直径4mm 展葉した。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-9
撮影日	R2.5.11
平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
個体No.⑭ 樹高18cm、根元直径4mm 展葉した。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-10
撮影日	R2.5.11
令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
鹿沼土への挿し木個体	
10本中8本に展葉あり。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-11
撮影日	R2.5.11
令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
赤玉土への挿し木個体	
10本中6本に展葉あり。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-12
撮影日	R2.5.11
令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
移植地土壌への挿し木個体	
葉の新芽はあるがまだ展葉していない。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-13
	撮影日	R2.6.8
	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認(ポット)  個体No.③ 樹高16cm、根元直径5mm  展葉した。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-14
	撮影日	R2.6.8
	平成29年3月14日挿し木個体 の育苗状況確認(発根促進剤 使用)  個体No.⑰ 樹高22cm、根元直径6mm  展葉した。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-15
	撮影日	R2.6.8
	平成31年3月8日挿し木個体 の育苗状況確認(発根促進剤 使用)  個体No.② 樹高16cm、根元直径5mm  展葉した。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-16
撮影日	R2.6.8
平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm  展葉した。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-17
撮影日	R2.6.8
平成31年3月8日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
個体No.⑭ 樹高19cm、根元直径4mm  展葉した。	



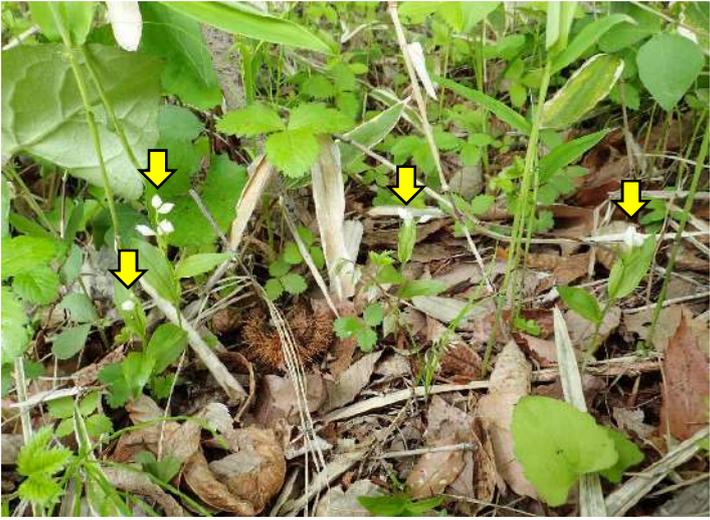
保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-18
撮影日	R2.6.8
令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)	
鹿沼土への挿し木個体  10本中3本に展葉あり。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-19
	撮影日	R2.6.8
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  赤玉土への挿し木個体  10本中3本に展葉あり。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-20
	撮影日	R2.6.8
	令和2年3月11日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)  移植地土壌への挿し木個体  展葉していない。	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-1
	撮影日	R2.5.11
	移植先及び周辺における個体の生育確認  平成25年度ギンラン確認場所  ギンランは確認できない。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-2
	撮影日	R2.5.11
	移植先及び周辺における個体の生育確認  平成27年度移植場所  ギンランは確認できない。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-3
	撮影日	R2.5.11
	移植先及び周辺における個体の生育確認  平成28年度移植場所  ギンランは確認できない。	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-4
	撮影日	R2.5.11
	移植先及び周辺における生育 個体の確認  昨年度にギンランを確認した 周辺の林内  ギンランと思われる芽生え。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-5
	撮影日	R2.5.11
	移植先の周辺環境整備  林床の低木や草本の刈り込 み作業(鎌による作業)	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-6
	撮影日	R2.5.11
	移植先の周辺環境整備  作業前	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-7
	撮影日	R2.5.11
	移植先の周辺環境整備 作業後	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-8
	撮影日	R2.6.1
	移植先及び周辺における個体の 生育確認  平成25年度ギンラン確認場所  ギンランは確認できない。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-9
	撮影日	R2.6.1
	移植先及び周辺における個体の 生育確認  平成27年度移植場所  ギンランは確認できない。	

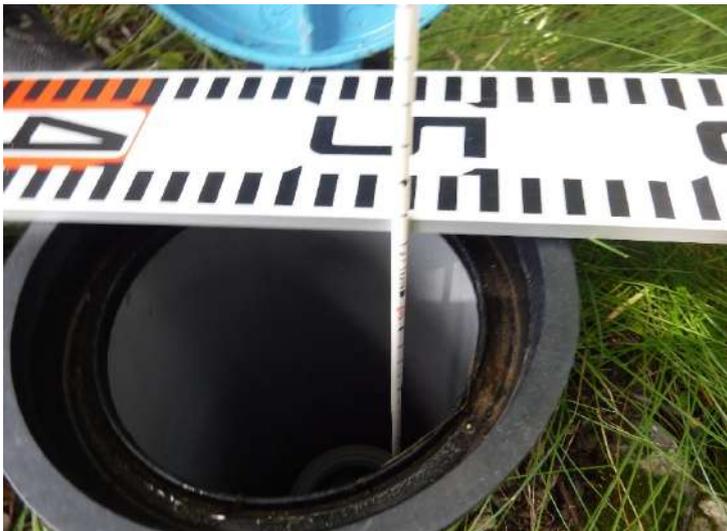
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-10
	撮影日	R2.6.1
	移植先及び周辺における個体の生育確認  平成28年度移植場所  ギンランは確認できない。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-11
	撮影日	R2.6.1
	移植先及び周辺における生育 個体の確認  昨年度にギンランを確認した 周辺の林内  開花したギンランを15個体確 認した。昨年度の13個体より2 個体増えていた。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-12
	撮影日	R2.6.1
	移植先及び周辺における生育 個体の確認  昨年度にギンランを確認した 周辺の林内  1箇所には4個体が生育。	

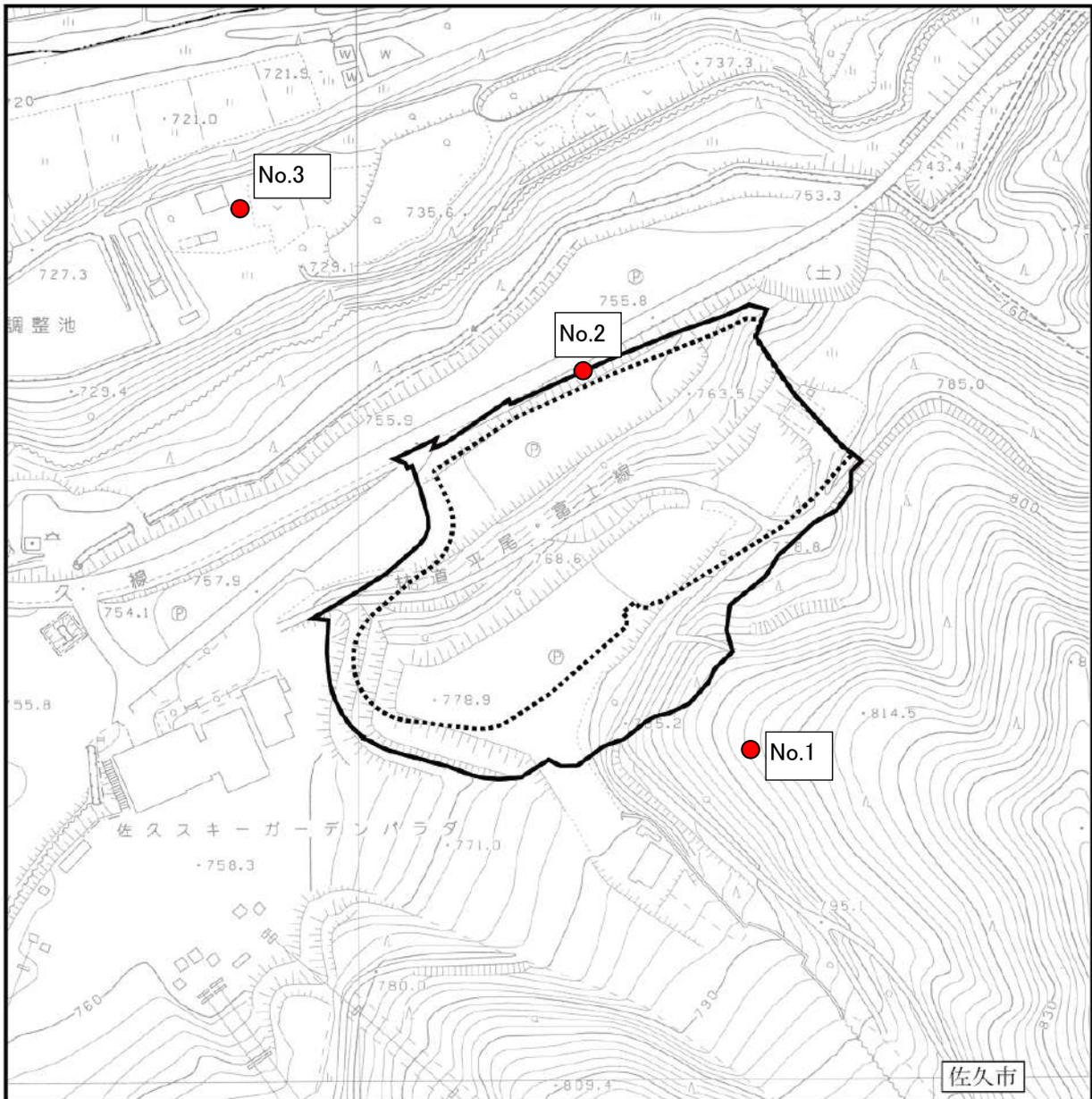
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-1
	撮影日	R2.6.1
	生息基盤移殖先(平尾用水法 面)における幼虫  確認固体	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-2
	撮影日	R2.6.1
	生息基盤移殖先(平尾用水法 面)のクサフジ  クサフジの生育は順調である が、クサフジ以外の草本(特に スゲ類)も繁茂しているため、 秋に他の草本の刈り取りを予 定する。	

	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-1
	撮影日	R2.6.12
	<p>クリイロベッコウ移殖先における個体の生息確認</p> <p>対象事業実施区域南側の移殖先③で採取したクリイロベッコウと思われる生貝。個体の殻径は約3mm。</p> <p>現在、種の同定(識別)中である。</p>	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-2
	撮影日	R2.6.12
	<p>クリイロベッコウ移殖先における個体の生息確認</p> <p>対象事業実施区域南側の移殖先③で採取したオオベソマイマイと思われる生貝。個体の殻径は約10mm。</p> <p>現在、種の同定(識別)中である。</p>	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-3
	撮影日	R2.6.12
	<p>クリイロベッコウ移殖先における個体の生息確認</p> <p>対象事業実施区域南側の移殖先③で採取したヒダリマキゴマガイと思われる生貝。個体の殻長は約2mm。</p> <p>現在、種の同定(識別)中である。</p>	

	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-4
	撮影日	R2.6.12
	<p>クリイロベッコウ移殖先における個体の生息確認</p> <p>対象事業実施区域東側の移殖先④で採取したヒメベッコウと思われる生貝。個体の殻長は約1.8mm。</p> <p>現在、種の同定(識別)中である。</p>	
	保 全 対象種	クリイロベッコウ
	写 真 番 号	クリ-5
	撮影日	R2.6.16
	<p>クリイロベッコウ移殖先における個体の生息確認</p> <p>対象事業実施区域南側の移殖先③で採取したクリイロベッコウと思われる生貝。個体の殻径は約9mm。</p> <p>現在、種の同定(識別)中である。</p>	

	保 全 対 象 種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-1
	撮 影 日	R2.6.10
定点観察実施状況 主対象:ハチクマ、ハイタカ		
	保 全 対 象 種	希少猛禽類
	写 真 番 号	モウ-2
	撮 影 日	R2.6.16
定点観察実施状況 主対象:ハチクマ、ハイタカ		

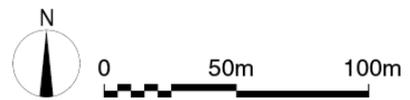
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-1
	撮影日	R2.4.27
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.1)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-2
	撮影日	R2.5.28
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.3)	
	保 全 対象種	地下水位
	写 真 番 号	チ力-3
	撮影日	R2.6.29
	地下水調査 調査実施状況 (写真は地点No.2)	



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 計画施設用地
- : 地下水位調査地点

----- : 市町界



地下水位調査地点

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】成木の移植

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月18日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	展葉したが一部の枝が枯れている。 キノコにはまだ目立った生長は見られない。										
	撮影日:5月11日										

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.③ 樹高118cm、根元直径16mm 展葉始まる。	個体No.③ 樹高125cm、根元直径17mm 展葉した。									
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日									

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.④ シラカンバの可能性のある 個体No.⑤に変えて個体 No.④を移植した。 樹高30cm、根元直径 11mm 展葉始まる。	個体No.④ 樹高39cm、根元直径 12mm 展葉した。									
	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日									

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月23日に播種し、平成30年3月8日に生育順調な3個体を対象事業実施区域内に移植。以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		個体No.⑦ 樹高140cm、株立ち(根元直径20mm、18mm、13mm)展葉始まる。 撮影日:5月11日	個体No.⑦ 樹高169cm、株立ち(根元直径21mm、19mm、14mm)展葉した。 撮影日:6月8日								

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		個体No.① 樹高42cm、根元直径12mm展葉始まる。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 撮影日:5月11日	個体No.① 樹高42cm、根元直径12mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。アブラムシにより一部の葉が枯れたため、殺虫剤を散布。 撮影日:6月8日								

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		個体No.① 樹高38cm、根元直径12mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。 撮影日:5月11日	個体No.① 樹高38cm、根元直径12mm展葉した。葉の形状からシラカンバの可能性が高い。アブラムシにより一部の葉が枯れたため、殺虫剤を散布。 撮影日:6月8日								

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】幼木の育苗

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成30年4月10日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
		生存数136本。 樹高12cm～27.5cm、根元直径2～4mm。 展葉始まる。	生存数135本。 樹高20cm～33cm、根元直径2～5mm。 展葉した。								
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日								

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】成木の移植

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成27年4月20日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	樹高は1.7～2.8m。全ての個体で順調に展葉して開花している。一部の個体に結実も見られる。										
	撮影日:5月11日										

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.③ 樹高7cm、根元直径3mm 展葉した。										
	個体No.③ 樹高16cm、根元直径5mm 展葉した。	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日								

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	個体No.⑪ 樹高21.5cm、根元直径6mm 開花して展葉した。										
	個体No.⑪ 樹高22cm、根元直径6mm 展葉した。	撮影日:5月11日	撮影日:6月8日								

令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表  
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)											
		個体No.② 樹高14.5cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.② 樹高16cm、根元直径5mm 展葉した。								
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日								

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)											
		個体No.⑫(中央) 樹高16.5cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑫(中央) 樹高19cm、根元直径4mm 展葉した。								
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日								

【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月8日に18本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(駄温鉢平鉢とポリポットごとに鹿沼土、赤玉土、赤玉土+腐葉土で育苗)											
		個体No.⑭ 樹高18cm、根元直径4mm 展葉した。	個体No.⑭ 樹高19cm、根元直径4mm 展葉した。								
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日								

# 令和2年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 事後調査の経過一覧表 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【令和2年5月～令和2年11月】

## 【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月11日に30本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(鹿沼土で育苗)											
		10本中8本に展葉あり。	10本中3本に展葉あり。								
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日								

## 【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月11日に30本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(赤玉土で育苗)											
		10本中6本に展葉あり。	10本中3本に展葉あり。								
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日								

## 【措置項目】個体の生育確認及び管理

事後調査の内容		令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月			
平成31年3月11日に30本を挿し木(発根促進剤使用)。 <挿し木条件> 発根まで半日陰で発根後に日向で育苗(移植地土壌で育苗)											
		葉の新芽はあるがまだ展葉していない。	展葉していない。								
		撮影日:5月11日	撮影日:6月8日								

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度(令和元年)			令和2年度																														
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
環境影響評価	★ 予測評価、準備書準備		★ 評価書準備		★ 施工状況等報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書			★ 事後調査報告書															
都市計画決定	★ 準備書公告・縦覧		★ 準備書縦覧		★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続			★ 都市計画決定手続															
施設用地造成	★ 地質調査		★ 造成工事費積算・入札準備・契約		★ 入札公告			★ 事業者決定			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事			★ 施設用地造成工事															
施設本体建設	★ 事業方式検討調査		★ 事業方式(DBO)決定		★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定			★ 施設建設・運営事業者選定												

2. 対象事業の実施状況一覧

年度 回数 報告対象期	平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度(令和元年)				令和2年度						
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月	第9回報告 4月～6月	第10回報告 7月～9月	第11回報告 10月～12月	第12回報告 1月～3月	第13回報告 4月～6月	第14回報告 7月～9月	第15回報告 10月～12月	第16回報告 1月～3月	第17回報告 4月～6月	第18回報告 7月～9月	第19回報告 10月～12月	第20回報告 1月～3月	第21回報告 4月～6月	第22回報告 7月～9月	第23回報告 10月～12月	第24回報告 1月～3月			
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。	現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】平成28年3月14日付で入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部から了承を得られた。 【施設本体建設工事】平成28年3月14日付で入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。	平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体建設工事】平成28年4月28日付で入札参加表明を締切り、同6月27日付で提案書の提出を受付けた。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。 【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、落札者決定について公表した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】掘削が続いている。 【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良の準備を進め、開始した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良を終え、擁壁本体の施工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の一部が、最上段まで積み上がった。ブロック積工及び法面工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁が完成し、敷地造成工事は、わずかな排水路工事を残すのみとなった。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】実施設計協議を継続中。 【植栽工事】隣接地との境界へ植樹を開始した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】5月より杭工事に着手した。5月末よりごみピット掘削工事に着手した。6月末より工場棟(一部)基礎根切掘削工事に着手した。 【法面保護工事】敷地法面の植生工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】杭工事、山留工事、ごみピット掘削工事が完了した。工場棟一階の躯体工事に着手した。 【法面保護工事】9月末に法面保護工事が完了した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】プラント架構の建て方工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟基礎工事に着手した。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の基礎工事、工場棟の建築工事、プラント機械の設置工事を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の屋根、外壁工事、工場棟の躯体、外壁、設備工事、プラント機械の設置工事を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の外壁塗装、内装、設備工事、工場棟の内装、設備工事、外壁塗装、設備工事、プラント機械の設置工事を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。 【施設本体建設工事】事務所棟の外装、内装、設備工事、工場棟の外装、内装、設備工事、プラントの電気、電気計装、保温工事、計量棟、洗車棟、車庫棟の外装、設備工事を行っています。令和2年6月2日から受電を開始し、工場棟機器類の単体試験を行っています。	建設地では、施設本体建設工事が行われている。						

施工状況(4月～6月)

実施月	実施状況	写真
4月	<p><b>【工場棟工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A工区は、外壁工事が概ね終了し、塗装工事、内装工事を進めています。</li> <li>・B工区は、外壁の塗装工事、各階居室の内装工事、給排水や空調、電気などの設備工事、プラントの配管工事、電気工事を継続して行っています。</li> <li>・C、D、E工区では、設備工事、配管工事、電気計装工事、保温工事などを継続しています。</li> </ul> <p><b>【事務所棟工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内装工事、設備工事などを継続して進めています。</li> </ul>	
5月	<p><b>【工場棟工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A、B工区は、外壁の塗装工事が終了し、各階居室の内装工事、給排水や空調、電気など設備工事、プラントの配管工事、電気工事を継続して行っています。</li> <li>・C、D、E工区では、設備工事、配管工事、電気計装工事、保温工事などを継続しています。</li> </ul> <p><b>【事務所棟工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内装工事、設備工事などを継続して進めています。</li> </ul> <p><b>【その他工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渡り廊下は、内外装工事を進めています。計量棟、洗車棟、車庫棟の付属棟では、基礎工事が終了し、鉄骨建て方工事を行いました。</li> </ul>	
6月	<p><b>【工場棟工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A、B工区は、受電を開始した他、各階居室の内装工事、給排水や空調、電気など設備工事、プラントの電気工事を継続して行っています。</li> <li>・C、D、E工区では、各プラント機器等の単体試験、調整を開始した他、床防塵塗装を行っています。また、プラントの電気計装工事、保温工事などを継続して行っています。</li> </ul> <p><b>【事務所棟工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内装工事、設備工事などを継続して進めています。</li> </ul> <p><b>【その他工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渡り廊下は、内外装工事を継続して進めています。計量棟、洗車棟、車庫棟の付属棟では、外壁工事、設備工事を行っています。</li> </ul>	

◆施設建設工事中の施工業者による環境保全措置実施状況

調査年月日：2020年4月1日～6月30日

	調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
				4月	5月	6月	
工事関係車両の走行	1 走行時間の分散	大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両の走行が集中しないよう走行の時期・時間の分散に努める。 特に朝の通学時間帯は極力避けるように配慮する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	2 交通規制等の遵守	大気質、騒音、振動、 触れ合い活動の場	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制及び指定走行ルート、標示規制等を遵守するよう指導する。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
	3 アイドリングストップ・エコドライブの励行	大気質	工事関係車両のアイドリングストップ・エコドライブを徹底する。	○	○	○	写真1
	4 土砂運搬車両等のタイヤ洗浄	大気質	建設地から退出する工事関係車両等の洗車を適宜実施する。	-	-	-	-
	5 工用車両出入り口の路面洗浄等	大気質	建設中の構内道路への散水や鉄板の敷設等を行う。	○	○	○	写真2
	6 土砂搬出車両荷台のシート掛け	大気質	土砂を搬出入する場合の車両荷台へのシートの敷設を行う。	-	-	○	写真3
	7 交通整理員の配置	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、必要に応じて交通整理員を配置するなど、出入口付近での車両の交錯を防止する。	○	○	○	写真4
	8 北パラダを利用する一般車両への配慮	触れ合い活動の場	スキー場の営業期間中については、来場者が多くなる土・日曜日の工事関係車両の走行を避けるように努める。	○	○	○	写真1 参考資料1(非公開)
建設機械稼働	1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)	大気質、騒音、振動、 動物、生態系、 触れ合い活動の場	建設機械は、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の使用や低騒音型・低振動型工法の採用に努める。	○	○	○	写真5～11 参考資料1(非公開)
	2 建設機械稼働時間の抑制	大気質	建設機械は、アイドリングストップを徹底する。	○	○	○	写真12
	3 建設機械稼働時間の分散	騒音、振動、 触れ合い活動の場	建設機械の稼働台数が集中しないよう工事の時期・時間の分散に努める。	○	○	○	写真12 参考資料1(非公開)

※実施状況欄 ○：実施 -：実施不要のため未実施

建設機械の稼働	調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類
				4月	5月	6月	
土地造成、掘削、樹木の伐採	4	工事区域の仮囲い・遮音壁の設置	大気質、騒音	建設地周辺へ工事用仮囲いを設置する。 必要に応じて対象事業実施区域境界に遮音壁を設置する。			写真13
	5	工事区域への散水等	大気質、植物、生態系	建設中の構内道路への散水や欵板の敷設等を行う。 散水を実施することで、粉じんの発生を防止し、周辺に生育する植物への影響を低減する。			写真14
	1	安全な掘削方法の検討	地形・地質	掘削工法の検討に当たっては、土地の安定性に十分に配慮する。			—
	2	計画・設計時の配慮	地形・地質	施設計画において、安定計算の実施、マニュアル等に基づく適切な設計、浸食防止排水溝の設置等を行う。			—
	3		地形・地質	切土工事に際し、仮排水路への排水ができるようにし、沈砂池に集水して濁水の土砂を沈殿させてから放水する。			—
	4		触れ合い活動の場	パラダの営業期間中の工事については、事業者と十分な協議を行い、スキー客への影響が極力小さくなるよう配慮する。			参考資料1(非公開)
	5	広範囲の裸地化の抑制	水質	段階的な切盛り工事の実施などの工事計画の検討により一時的な広範囲の裸地化を抑制する。			—
	6	工事区域外からの流入抑制	水質	工事区域の外周に仮設の雨水排水路を設置し、工事区域外からの雨水の流入を抑制し、濁水の発生量を低減する。			写真15
	7	造成工事の休止	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成工事を行わない。			—
	8	造成面等からの濁水発生対策	水質	台風、集中豪雨等が予想される場合には、造成面、仮置き残土等へのシート、土嚢による養生等の対策を講じる。			—
	9	沈砂池等の設置、維持管理	水質	十分な貯留容量を有する沈砂池を設置し、雨水を一時的に貯留し濁水の土砂を沈殿させてから放流する。			—
10	雨水排水の濁りの監視	水質	降雨時には速やかに雨水排水の濁りの状況を目視により確認し、濁りが認められた場合には濁水を沈降させ、上澄みを放流する。			—	
11	雨水排水の水温の監視	水質、植物、動物、生態系	排水温度の変化に伴う動植物への影響の可能性の観点から、放流水の水温について監視する。			写真16	

※実施状況欄 ○：実施 ー：実施不要のため未実施

調査対象事項	関連項目	環境保全措置の内容	実施状況			添付書類		
			4月	5月	6月			
土地造成、掘削、樹木の伐採	12	揚水量を低減する掘削工法等の検討	水象	揚水量を低減する効果的な掘削工法等を検討する。			計画時実施済み	—
	13	止水壁等の設置による水位低下の防止	水象	止水壁を透水性の低い層まで設置する等により地下水水位低下の防止を図る。			計画時実施済み	—
	14	コナラ林の改変の回避	生態系	対象事業実施区域南側のコナラ林の改変を回避する。			計画時実施済み	—
	15	対象事業実施区域境界の林縁保護	植物、動物、生態系	対象事業実施区域境界に適宜防風ネットや遮光ネット等を設置することで、樹木の保全を図る。			○ ○ ○	写真17
	16	対象事業実施区域周辺で営巣が確認された場合の工期変更等	動物、生態系	対象事業実施区域の近隣で希少猛禽類の営巣が確認された場合には、工事時期や手順、監視等について検討を行う。			—	—
	17	工事関係者への啓発(動植物等)	植物、動物、生態系	工事関係者及び作業員に対して、対象事業実施区域外への不意な立ち入りや工事用車両の空ぶかしや急発進等による騒音の発生抑制などの指導を行う。			○ ○ ○	写真18 参考資料1(非公開)
	1	中和処理	水質	アルカリ排水について、環境基準内(pH8.5以下)に中和処理を行った後排水する。			○	写真19
舗装工事・コンクリート工事	2	水素イオン濃度の監視	水質	コンクリート工事に伴うアルカリ排水について、pH計を用いてpHの監視を行う。			○	写真20
	1	建設発生土の再利用	廃棄物等	掘削土砂については本事業の敷地内や他事業での再利用に努め、残土の発生を抑制する。			造成・掘削工事時 実施済み	—
	2	公共事業等での有効利用	廃棄物等	場外搬出する残土については、他の公共事業での有効活用を図り、処分量の低減を図る(受け入れ先は組合で決定)。			造成・掘削工事時 実施済み	—
	3	アスファルト・コンクリート塊、木くず、伐採木等の再生利用	廃棄物等	再生利用の促進を図るため、アスファルト・コンクリート塊、木くず・伐採木等は可能な限り資源として再生利用する。			造成・掘削工事時 実施済み	—
	4	現場での分別排出	廃棄物等	発生した廃棄物については、可能な限り現場で分別を行い排出する。			○ ○ ○	写真21
発生土、建設廃棄物、伐採木	5	適正な管理(土壌)	廃棄物等	自然由来により残土が汚染されている場合もあから、処分方法に応じた適切な搬出の管理を行う。			計画時実施済み	—

※実施状況欄 ○:実施 —:実施不要のため未実施



写真1

工事関係車両の走行  
 No.1  
 走行時間の分散  
 No.2  
 交通規制等の遵守  
 No.3  
 アイドリングストップ・エコドライブの励行  
 No.8  
 北パラダを利用する  
 一般車両への配慮

撮影日 2020/4/20



写真2

工事関係車両の走行  
 No.5  
 工事用車両出入り口の  
 路面洗浄等

撮影日 2020/5/20



写真3

工事関係車両の走行  
 No.6  
 土砂搬出車両荷台の  
 シート掛け

撮影日 2020/6/25

	<p style="text-align: center;">写真4</p> <p>工事関係車両の走行 No.7 交通整理員の配置</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/4/8</p>
	<p style="text-align: center;">写真5</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型)</p> <p>クローラークレーン 55t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/4/3</p>
	<p style="text-align: center;">写真6</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>コンパインドローラー 4t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/6/23</p>

	<p style="text-align: center;">写真7</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>バックホ-(0.12m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/6/19</p>
	<p style="text-align: center;">写真8</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>バックホ-(0.2m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/6/23</p>
	<p style="text-align: center;">写真9</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>バックホ-(0.45m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/6/23</p>

	<p style="text-align: center;">写真10</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>バックホー(0.7m<sup>3</sup>)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/4/8</p>
	<p style="text-align: center;">写真11</p> <p>建設機械の稼働 No.1 対策型建設機械の使用 (排ガス対策型、低騒音型、低振動型)</p> <p>ラフトークレーン 25t</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/6/1</p>
	<p style="text-align: center;">写真12</p> <p>建設機械の稼働 No.2 建設機械稼働時間の抑制 No.3 建設機械稼働時間の分散</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/5/15</p>

	<p style="text-align: center;">写真13</p> <p>建設機械の稼働 No.4 工事区域の仮囲い ・遮音壁の設置</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/4/8</p>
	<p style="text-align: center;">写真14</p> <p>建設機械の稼働 No.5 工事区域への散水等</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/6/25</p>
	<p style="text-align: center;">写真15</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.6 工事区域外からの流入抑制</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/4/8</p>

	<p style="text-align: center;">写真16</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.11 雨水排水の水温の監視 (コンクリート工事に伴う鏝等の 洗浄水)</p> <p>15°C</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/4/17</p>
	<p style="text-align: center;">写真17</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.15 対象事業実施区域境界 の林縁保護</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/4/30</p>
	<p style="text-align: center;">写真18</p> <p>土地造成、掘削、樹木の伐採 No.17 工事関係者への啓発 (動植物等)</p> <p style="text-align: right;">撮影日 2020/6/1</p>



写真19

舗装工事・コンクリート工事  
No.1  
中和処理

撮影日 2020/4/17



写真20

舗装工事・コンクリート工事  
No.2  
水素イオン濃度の監視  
PH6

撮影日 2020/4/17



写真21

発生土、建設廃棄物、伐採木  
No.4  
現場での分別排出

撮影日 2020/6/30